

私たちの暮らしからプラスチック問題を考える

浜松篠原海岸の浜砂からプラスチックを探す体験

開催日時 2020年9月13日(日) 9:00~12:00

会場 浜松市西部清掃工場 えこはま

参加人数 23名

※市内中高生(浜松市市民協働センター ボランティアクエスト)

浜砂回収 2020年9月5日 午前9時(台風10号到来前)

篠原海岸 海岸線から30m周辺(前回に比べ海岸線が内陸になっていました。台風の影響が考えられます。また、波打ち際付近は、波が流木やごみをさらい、きれいになっていた。)

採取範囲 10m×5m 深さ1~3cm程度

採取量 約10.15kg

回収したプラスチックの個数 537個

初回収品 結束バンド(小)1個、釣り糸1本



浜松篠原海岸 海岸線付近の浜砂からプラスチックを探す

採取 9/5回収午前9時頃(台風10号到来前) 浜砂約10.15kg

プラスチックの種類や色	合計
▼1次マイクロプラスチック	
被覆肥料	21
レジンペレット	12
▼プラスチック	
発泡スチロール破片	16
飲料用ボトルキャップ	2
食品容器・包装・袋	4
ゴム	1
ビニール破片	8
白不織布(小)	26
▼プラスチック 色別	
白	169
赤	36
青	60
緑	132
黒	23
ピンク	3
黄	10
たばこフィルター	5
繊維	4
オレンジ	3
釣り糸	1
結束バンド	1
	537

＜参加者の感想＞

- ・今回の活動で砂浜には沢山のごみがあると気付くことができました。大きいごみであれば自分でも拾うことができましたが、小さなごみは拾うことが出来ません。少しでもごみが減るような活動をしていきたいです。(高3 男子)
- ・プラスチックの種類を見分けるのが大変でした。単にプラスチックゴミではなく、その中でも種類分けがあることを知りました。大きなごみ(キャップなど)だけでなく、一見きれいに見える砂でも、ふるいにかけて、仕分けしてみるとたくさんのごみが混ざっていることを知りました。(高2 男子)
- ・海洋プラスチックは発泡スチロールやビニールの破片、色付きのプラスチックが多いということが分かりました。また、初めて知った田んぼで使われる肥料も多く見つかりました。海洋プラスチックは軽いと海岸まで運ばれて人間の手でとることができますが、重いと海に沈んでしまい魚が食べてしまう危険があるので怖いなと思いました。(高1 女子)

